



鳥取市教育センターだより

第1号 令和2年 5月19日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

「SQのある学校」で支援(サポート)を充実!

所長 東田 重高

さわやかな風とともに、木々の緑が新たなエネルギーを感じさせてくれる季節となりました。新年度のスタートと同時に、新型コロナウイルス感染症対策に係る様々な対応にご尽力いただいている中、早や1ヶ月半が経過しています。今後も想定外の状況が起こるかもしれませんが、この困難を乗り越え、子どもたちや教職員の皆様が健康で笑顔あふれる学校生活を送られることを願っています。



鳥取市教育センターは、開設14年目を迎えました。日頃から学校関係者はもとより、多くの方々の御理解と御支援をいただき、深く感謝申し上げます。本年度は、節目となる中核市3年目を迎え、「すべての子どもが しあわせになるために」の合言葉を継続し、学校や関係機関と連携を図りながら取組を進めていきたいと考えています。予定が大きく変更となった教職員研修においては、TV会議による遠隔講義実施など工夫できることを検討しています。

また、本年度は「適応指導教室」を「サポートルーム」と改め、不登校など学校生活に困り感をもつ児童生徒への支援の充実をめざして、「すなはま」「レインボー」の運営を継続していきます。学校・保護者や関係諸機関と連携しながら、個に応じた適切な教育相談体制の構築と支援の充実を図っていきますので、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策を実施している中で、本市ブランドスローガン「SQのあるまち 鳥取市」のSQに込められた下記の意味に触れてみたいと思います。「学校」に置き換えて考えてみましょう。



- ◆Service Quality (質の高いサービス提供)
- ◆Safety Quality (安全・安心に暮らせる環境)
- ◆Sightseeing Quality (優れた魅力資源)

困難な状況が続く中、教育センターは、【◆Support Quality (質の高い支援)】子どもたち・学校をしっかり支援すること・つながりを深めることを意識して、ミッションを見据えながら役割を果たせるよう職員一同努めてまいります。本年度も御支援・御協力を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。



研修企画係

「すべての子どもがしあわせになるために
ともに学び続ける教師をめざして」

中核市研修3年目を迎えました。本年度も、鳥取市のすべての子どもがしあわせになるために、ともに学び続ける教職員の育成を図り、特別支援教育の視点を基盤とした児童生徒理解を深め、魅力ある学校・学級づくりに向けた研修を行います。

中核市研修3年目が変わることを中心にお知らせします



1 新しい研修

学級づくり研修

各学校の自治力の育成に活かすことをめざし、平成30年度鳥取市新規採用教諭・養護教諭を対象として「学級づくり研修」を新設しました。

ICT活用研修

教職員研修ガイドには掲載していませんが、教職員のICT活用指導力を高めるために、ワークショップ型の研修を新たに実施できるよう検討中です。

2 昨年度までと変わる研修

教務主任研修

めざす子ども像の実現に向けたカリキュラム・マネジメントについて理解を深め、教務主任として学校運営に活かすことをめざした研修を設定しました。

3 オンライン等を活用した研修

TV会議による 遠隔講義

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、研修の一部を集合して実施する研修ではなく、TV会議による遠隔講義としました。

TV会議への接続方法について、詳しくは、別途通知を参考にしてください。御不明な点がありましたら、研修企画係まで御連絡ください。



「わたしの研修とマネジメントサイクル」

本年度も研修受講の際に、教職員研修ガイドのP. 42にある「わたしの研修とマネジメントサイクル」を御活用ください。

このシートは、「自校の強みや取組の課題は何か」「活かしたい研修内容は何か」「具体的にどのように活かすか」など、研修の振り返りの際に確認します。研修後の復命に御活用ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、研修会場や研修時間が変更となっています。今後の連絡に十分御留意ください。よろしくお祈いします。